

あやがわ



# 議会だより



滝宮小学校へ入学（4月10日）



定例会のあらまし	2～3p
太陽光発電設置補助、滝宮地区新駅構想など	
4委員会報告	4～7p
一般質問にJA県農協の支店統合等7人が質問	8～11p
傍聴記	12p

# 太陽光発電設置補助に600万円

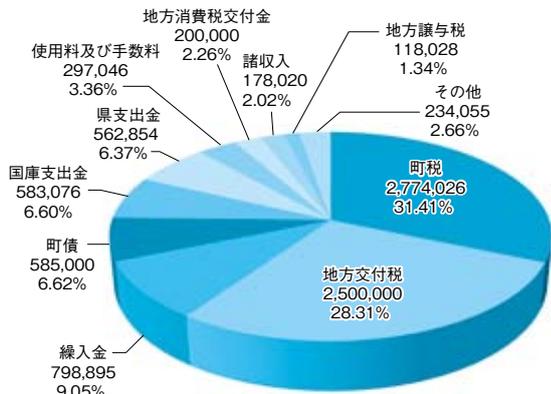
3月定例会は3月1日から21日までの会期で開催した。本会議初日は町長から、平成24年度施政方針と、議案の提案理由の説明があった。2日目の7日には、議員による一般質問のあと、提案された各議案を関係常任委員会へ付託し、19日には、学校等再編整備調査特別委員会の開催を承認し散会した。最終日の21日には、24年度の一般会計・特別会計予算、議案40件をいずれも原案どおり可決し閉会した。

町税は前年度比2.2%減

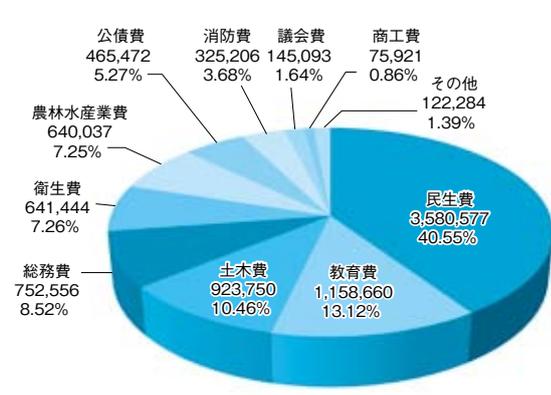
地方交付税は4.2%増の見込み

## 一般会計

### 歳入〈単位：千円〉



### 歳出〈単位：千円〉



### ●一般会計

歳入は、町税27億7402万円、地方交付税は25億円、国庫支出金5億8307万円、県支出金5億6285万円、繰入金7億9889万円、町債5億8500万円を見込んでいます。

歳出は、民生費が3億8057万円、教育費が11億5866万円とウエイトを占めている。

### ●特別会計

●町営バス運行事業  
歳出はバス運行業務、デマンド型試行運行業務委託料。  
歳入は一般会計からの繰入金と運賃収入など。

### ●国民健康保険

歳出は保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金など。  
歳入は、国民健康保険税、国庫支出金など。

### ●国民健康保険診療所

歳出は、施設管理費、医薬費、介護サービス事業費など。  
歳入は、診療収入、介護サービス収入など。

### ●後期高齢者医療

歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金。  
歳入は、後期高齢者医療保険料、一般会計繰入金など。

### ●介護保険

歳出は、保険給付費、地域支援事業費など。  
歳入は、支払基金交付金、国庫支出金、繰入金など。

備などを計画している。

# 24年度の一般会計当初予算

## 88億円

前年度比 0.8%減

### 公営企業会計

会計名		予算(千円)
陶病院 事業	事業収益	1,451,883
	事業費用	1,434,624
	資本的収入	36,551
	資本的支出	63,670
介護老人保健 施設	事業収益	316,710
	事業費用	316,611
	資本的収入	0
	資本的支出	0
水道事業	事業収益	620,686
	事業費用	552,080
	資本的収入	118,700
	資本的支出	345,714

### 特別会計

会計名	予算(千円)
町営バス運送事業	41,883
国民健康保険	2,990,551
国民健康保険診療所	195,428
後期高齢者医療	321,749
介護保険	2,476,055
火葬事業	35,356
墓園事業	21,764
農業集落排水	9,890
下水道事業	516,294
育英事業	11,362

#### ◎下水道事業

歳出は、下水道施設整備費、中讃流域下水道負担金、償還金及び利子。

歳入は、一般会計繰入金、国庫支出金、使用料など。

#### ◎育英資金

歳出は、育英事業(貸付金)など。

歳入は、育英基金繰入金、貸付返済金など。

#### ◎火葬事業

歳出は、綾川斎苑管理運営費。

歳入は、斎苑使用料、一般会計繰入金など。

#### ◎墓園事業

歳出は、墓園管理費、精華墓園施設整備費。

歳入は、使用料、一般会計繰入金、墓園使用料など。

#### ◎農業集落排水

歳出は、排水施設管理費、償還金及び利子。

歳入は、一般会計繰入金など。

#### ●23年度一般会計

#### 補正予算

補正額は9543万円を減額し、96億4122

万円とした。

歳出では、総務費67

19万円(光ファイバー

網整備事業、全国山村振

興連盟負担金など)減額

し、民生費2092万円

(介護保険事業財政安定

化臨時繰出金など)増額、

農林水産業費1093万

円(認定農業者育成事業

など)を減額、土木費1

億4076万円(まちづ

くり整備基金積立金な

ど)増額。教育費1億3

101万円(綾上中学校

大規模改造工事、生涯学

習センター建設工事な

ど)を減額した。



3月定例会会議

#### 教育委員の任命同意

委員の任期(平成24年5月11日)満了に伴い推薦に同意した。



新任

濱崎 泰子 (55歳)  
綾川町畑田812番地1

#### 固定資産評価審査委員会委員の選任同意

委員の任期(平成24年5月10日)満了に伴い選任に同意した。



再任

岡内 勉 (72歳)  
綾川町千疋237番地



再任

細川 勝正 (68歳)  
綾川町陶5981番地2



新任

伊賀 武 (65歳)  
綾川町山田上甲2263番地1

綾川町まちづくり整備基金条例を制定

コトデン新駅設置に伴う事業負担金、駅への連絡道路や駅前広場等の整備に必要な財源確保のために基金を設ける。

はコトデン活性化協議会で、コトデンは駅舎に対しての負担である。

体育施設の使用料を引き下げる

綾川町ふれあい運動公園などの、町民体育施設の利用状況や近隣の体育施設の利用料を鑑み、使用料の改定をするものである。

テニスコートの利用者が毎年減っているが、利用料金の値下げだけでなく、何か対策が必要では

利用者意見聞き検討していく。

平成24年度一般会計予算

88億3100万円。歳出は昭和地区保育所整備事業、滝宮地区都市再生整備事業（平成24年から3カ年で、コトデン新駅に進入路、駅前広場の整備を予定）綾南中学校改築事業である。

歳入は、町税27億7402万円、地方交付税は前年度比1億円増である。

基金の取り崩しは学校施設整備基金、子育て支援基金、町づくり支援基金などである。

新駅に伴う道路整備、駅前広場はどのようにするの

駅前広場は3000㎡を基準に考えている。道路用地、駅前用地は平成24年度買収を行いたい。

交通結節機能強化事業とは

新駅設置に伴うコトデン運行頻度の向上、路線バス、町民バスの再編、駐車場の確保、タクシーの配置など、新駅の



仮設校舎が予定される綾南中学校

中学校の武道備品の詳細と、武道指導者の確保は

綾上中学校は、剣道を選択し防具一式と竹刀を、綾南中学校は柔道を選択し柔道着を購入する。指導者の確保は、担当教諭の補習などを求め、安全面での確保が図られるよう準備を進めている。

町営バス運送事業に4188万3000円、その内600万円を、綾上地区で試行運転するデマンドバス運行経費として計上しているが、デマンドバス運行中も路線バスを運行することはできないのか

今後意見を聞きながら改善をしていきたい。

デマンドバスについて西分線など前回実施していない地域には周知徹底が必要では

積極的に向いて周知していく。

生涯学習センターの竣工検査は、事前の見学はできないのか

平成24年1月16日に竣工検査を行った。また、2月に向けて備品を搬入するが、全て揃うのは3月下旬になるため、事前の見学は実施しない。

デマンド運行は1回300円の運賃だが、今回タクシー協同組合に委託をし、それを超えた部分は町が負担をするのか

タクシー業者が決まった段階で協議をする。トラブルを防ぐため、年間を通しての委託料方式を考えている。

前回のデマンド運行実験で、利用者が少なく効果はなかったのでは。高齢者は電話予約が非常に不便であり、家まで迎えがないことがあったが

今回はタクシー運行で、許可を得るのに2ヵ月程かかるが進めたい。



新駅舎予定のイオン付近

イオン・コーナンの企業協力が必要では。また、駅舎を作る際、コトデンの負担は。イオンなどの企業と協議している。事業主体

介護保険等も町が財政支援をしている。将来の行政需要に備えて基金設置を行うものである。

綾川町公共施設耐震化整備基金条例等を廃止する条例の制定

特定の事業を実施するため制定した基金について、所要の目的を達成したことにより「綾川町墓苑事業減債基金条例」・「綾川町火葬場建設基金条例」・「綾川町介護保険施設整備基金条例」・「綾川町地域福祉基金条例」を廃止する。

介護保険料1号被保険者の基準額で月額4800円に改定

今回の条例改正は、第5期事業計画における介護保険料の見直しにより改正するものである。1号被保険者基準額で、月額4800円にするもの。県下の平均は約5200円であり、また、今回から第3階層のうち特例階層を設置し、保険料の上昇を極力抑えた。

戸籍の本人通知に対応するシステム

平成24年度、住民票や戸籍謄本などを本人の代理人や、弁護士等の8業種である第三者に交付したとき、事前に登録した人に対して、その事実を通知するものである。

香川県では本町を含み8市9町が平成24年7月より開始する。

住民票等を第三者に交付したときは、本人に通知することにより、ある程度、住民票等の不正請求が抑制される効果があると思う。誰に交付したかについては知らされないもので不十分なのは、

個人情報保護条例の観点より、原則的に住民票等を請求した者の氏名は、知らすことが出来ない。

綾川町国民健康保険特別会計

平成24年度の予算が執行されれば、財政基金残高がわずかになり、今後の国民健康保険の運営は、

赤字分を全額保険税で賄うことについては、被保険者の税負担能力上、難しいと思われる、今後、財政担当と調整しながら、議会と相談していく。

精華墓園平成24年度造成工事計上

精華墓園平成24年度造成工事計上

精華墓地経過については、

基盤整備を行う中で農地等に点在していた墓を集積し換地したのが現在の精華墓地、墓の移転に補償費を支払い、その後、地元で管理、地元関係者一同で協議され、町営墓地として管理を依頼するとの意思決定があり、今回の整備となった。

高松市一般廃棄物陶最終処分地の協定書について。

高松市と地元との環境保全協定は、今後の話し合いで決めていく。



町営となる精華墓園（陶）

陶病院の堀口先生が京都の病院に転勤

2年間勤められた堀口先生が、京都の病院に転勤し、代わりに平成24年4月より県立中央病院山本先生が赴任される予定。  
要望 地域の人が安心して暮らせるように、町としても努力をお願いする。

厚生委員協議会

1/27

国保被保険者証のカード化について

平成24年度から保険証を、これまでの世帯単位から個人単位としたい。このことにより、家族が異なった医療機関において同時に診察が受けられるようになる。  
なお、保険証は紙ベースで、これまでどおり毎年の更新とする。



新しい国保被保険者証

道の駅滝宮  
指定管理者を指定

綾川町うどん会館及び産直市施設について、株式会社綾南プラザ（第三セクター）が引き続き3年間、指定管理者となった。

**要望** うどん会館の大規模な経営改革と、民間委託も視野に入れて、3年間かけて検討を。

**問** 施設のPRは。  
**答** 県内外に積極的にPRしたい。

予算から見る主な事業

◎農地の条件不利地の利用権設定を行った担い手に対する助成をする。

◎45歳未満の新規就農者に青年就農給付金を支給する。

◎集落内で農業のあり方を話し合い、人・農地プラン作成への取り組みに対する助成を行う。



捕獲されたアライグマ

◎アライグマ・ハクビシンの防除対策への支援を行う。

◎合併浄化槽に単独処理浄化槽及びくみ取り便所からの転換に上乘せ補助を実施する。

◎水道幹線の石綿管の取り替えは終了予定である。

**問** 団地汚水管等調査の内容及び対策について。  
**答** 下水道本管との取付管及び宅内の排水管の不具合調査。故障箇所につ

**問** 柏原溪谷自然休養センターの利用状況は。

**答** コテージで2月末までに54棟。利用人数は2888人であり、全体としては7393人。

冬季の集客増を目指し、宿泊サービス等を含めてPR活動を検討して利用者数増を図る。併せて、ウェブカメラによるPRも検討したい。

**問** 綾南中学校のプール水道料金の高額支払いについては。

**答** プールの使用時期に合わせて元栓の開閉を行っている。閉栓期間中に止水栓が開いていたもので、開栓時に発覚。漏水等が原因ではなく学校の管理の不備によるもの。

**問** 粉所南部地区の水道管の布設について、給水する地元との確約は。戸数は減っているのか。  
**答** 昨年7月に加入申込書の提出があった。今年度の早期に再度意思確認を行い、戸数については、予定されていた一般家庭の24戸に竜雲学園が増え25戸が加入予定している。

**問** 4月より供用開始となる羽床上東地区 幹線農道に停止指導線の設置

を行っている。関係機関と協議した。業振興公社による対策を行っている。

**問** 人・農地プランの周知については。

**答** アグリネット綾川での周知、さぬき水田営農だよりの配布、各会合等で広く周知を行っていく。

**問** 地域ブランド認定は。他市との情報を参考に検討したい。

**問** 山間地域の放棄地対策は。  
**答** 町単独事業、また農

**問** JA香川県の統廃合について。

**答** 地域の現状、委員会での状況等を報告している。地域のJA役員にも働きかけたい。

報告

●東日本大震災被災者への町営住宅提供戸数を、利用実績がないため、4月から、5戸を2戸とし、残り3戸を一般用として適時町民に提供する。

●1・4ジオキサンについて、2月上旬から綾南浄水場の原水と浄水を週3回、他の井戸水源原水を週1回水質検査をしている。

現在長柄ダムの貯水率は98・5%で、毎秒1.39放流している。今後適正な水質管理に努める。



4月より供用開始となる羽床上東地区の農道

現地踏査を実施

菅原用水隧道（陶）築造後40年以上経過し、平成19年には一部が崩落し通水に支障をきたしたことから、刃口式推進工法により延長88・78mを施工する。

綾川農業振興地域整備計画の変更

平成20年5月に、旧町の計画を統合した見直しを行っているが、平成21年6月の農振法の改正に伴い、国道バイパスの4車線化、公共下水道の使用区域の拡大や大型商業施設の開発、コトデン新駅構想等の社会情勢の変化を考慮し、目標を平成32年として、現況農用地2539haのうち1898haを守るべき農用地として見直しを行った。

また、守るべき集団的な農用地の設定面積が20haから10haに変更となった。

学校等再編整備調査特別委員会 2/3/19

現地踏査を実施

- 綾川町B & G綾上海洋センタープール大規模改修工事
- 綾上中学校大規模改修工事
- 綾川町昭和地区保育所整備事業造成工事



改修後のB&G綾上海洋センター

**問** B & G プール大規模改修工事のうち脱衣室等の関連施設の改修は設計仕様書どおり完了しているのか。

**答** 設計書に基づき工事は完了した。

**問** 綾上中学校の黒板表面の張替え数と現在の使用している教室は。

**答** 普通教室、特別教室外を対象に20教室張替えた。

**●**綾上中学校の大規模改修工事では、引き続き体育館棟、武道館棟の工事を平成24年度の夏休みに実施。

綾南中学校の用地交渉を継続中。

**問** 綾南中学校改築の事業工程からみて用地取得の成否は。

**答** 引き続き交渉に努める。

**●**平成25年度より「綾川町の幼児教育共通プラン」を本格的に実施し「教育の町宣言」に相応しい教育を行う。

**問** 国が示している幼保一体化の考え方と差異はないのか。

**答** 国の考え方に沿った保育・教育プランとしている。

**問** 昭和地区保育所と昭和北保育所の関係はどのように考え、また条例改正等予定しているのか。

**答** 保護者との協議を進め段階的に今後、施設の設定条例等改正を予定している。



造成工事中の昭和地区保育所の工事現場

ている。

**要望** スムーズな移行ができるよう丁寧な説明、保護者のニーズに応える保育を。

**問** 昭和地区保育所の名称は。

**答** 保護者との協議や公募する方法もあり検討する。

**問** 昭和南保育所の跡地利用は。

**答** 地域住民と十分に協議し進めたい。

**●**西分保育所の入所状況は平成23・24年度とも約10名ですべて西分地区以外から入所。

平成25年度から休所としたい。

**問** 西分保育所の休所の進め方は。

**答** 地域住民・保護者への説明、協議を十分に理解を得たい。

**要望** 西分地区から公共施設が無くなることから十分な配慮を。

福家 利智子 議員

Q 有機農業の推進と営農指導員の配置を

A 県・JAと町との連携を強化



環境にやさしい合鴨農法

足により、農業法人として機能を持つ農業振興公社を将来的に、農業指導を担う人材を配置し、町の農業振興の拠点となるような組織に発展させては。

町長 消費者に対し、安心できる安全な食材、生産者がわかる食材が提供できるように「有機農業の推進に関する基本方針」に基づき、有機農業者・消費者への普及啓発を促進していく。今後、JA香川県にも手厚い営農指導体制を切に要望するとともに、県農業改良普及センターを中心に、農家・JA香川県・町との連携を強化する。

問 有機農業の推進は、農業を営む農家にとって付加価値のある生産物を供給すること。消費者には、安心・安全な食材の提供、自然にやさしい環境保全に大きな役割を果たすなど、大きなメリットを有するものである。今後の農業を見据えたひとつの選択肢と言える。また、JAによる営農指導や県の普及職員の不

Q 東日本被災地の支援は被災地の立場に立った支援を取り組む

問 東日本大震災から早くも1年が過ぎた。今なお、復興、復旧に向けたボランティア活動の要請は強いものがあるが、町民の理解と協力を得て、例えば支援ボランティアバスを派遣し、現地での支援活動。また、家や仕事、田畑も、そして家族を失った方々に「綾川町へ来てください」と暖かく迎え入れられる空き家の提供も考えられる支援のひとつ

町長 被災地の復旧・復興には長い時間がかかることから、町として今後とも国・町村会などを通じて支援ができるよう取り組んで参りたい。

安藤 利光 議員

Q 安全な水道水が飲めるように  
A 事業者管理を厳しく行うよう申入れる



環境基準値(0.05mg/l)を超えていた長柄ダム貯水池

問 1月31日、丸亀市綾川浄水場横の河川表流水から1・4ジオキサンを検出したと、県に報告があった。2月2日、県は過去に基準超過の原因となった民間の産廃処分場の立入り検査を行い、雨水排水口より排水を採取して調査した結果、環境基準を超える数値であった。

「1・4ジオキサンは無色透明の液体で、水や油にも溶けやすい性質があり、世界保健機構が発がん性物質として、飲料水のガイドラインを設けている。」下流住民が、安全な水道水が飲めるように、検査も公開し、広報紙に掲載するなど行政が責任を持って対策をすべきでは。

町長 県と一緒に綾川流域の井戸水をはじめ水質調査を行い、事業所に立入り調査をした。本来、浸出水とともに処理されなければならぬ物質が雨水に混入したためである。事業者は、浸出水の流出防止の工事を行うとともに、7月に、オゾンガスを利用し1・4ジオキサンを分解除去する設備を設置・稼働したいと報告があった。処分場の汚染対策として、浸出水の適正な管理を今以上に厳格に行うよう申入れる。また、水道水の検査計画の見直しや関係機関と情報の共有を図り、安心安全な水道水を供給する。

## 田辺 健次 議員

**Q JA県農協、支店統合に対するフォローは**

**A 県農協に対して、町民の不便のないよう要望していく**



廃止になるJA香川県粉所出張所

**問** 綾川町の農協統合計画は、平成24年7月28日に西分、粉所出張所が廃止となる。住民は「大変困る」という反発と激しい感情になっている。高

齢者の多い地域では、年金の受取はATMでの引出しでは機械操作が困難なため、窓口での引出しを望んでいる。廃止地域でのフォローや対策が未だに決定していない。廃止となる地域の住民は「綾川町綾上支所で通帳による現金出し入れがでないか」との声。行政としてのJA県農協へ早急に働きかけを。

町民である組合員への配慮を行い、不便をかけることのない対策を早急に講じることを強く要望していく。

**町長** 2回目の業務改善命令を受け、131店舗への再編については、誠に残念なことである。中山間地域では、高齢者が多く、縮小統合されるとJAの店舗へ行くにも、交通手段が限られており、多くの町民が不便になる。このような状況をJA香川県に対して、統合後の各店舗における職員の配置、



## 松浦 正昭 議員

**Q 家庭排水汚染防止対策は**

**A 単独から合併浄化槽に**

**上乗せ補助**

**問** 水質汚染を防止するためにには下水道の整備と、未整備地区では合併浄化槽の設置が望ましい。

平成24年度から、合併浄化槽に切り替える場合に切り替え補助金が上乗せ支給されることになり、合併浄化槽への切り替え対策は。

に弾みがつき排水浄化に貢献するものと思う。浄化槽を設置しても浄化槽の維持管理が不十分では環境浄化にはならない。法定検査、管理会社での維持管理が適正に行われているのか町の指導と対策は。



水質浄化に合併浄化槽を

**町長** 水質保全のため、公共下水道及び合併処理浄化槽事業を推進している。生活排水の処理は調査によると、下水道接続2720戸、合併処理浄化槽2307戸、単独処理浄化槽3217戸、くみ取り世帯1277戸という調査結果であり、相当数の生活排水の未処理世帯がある。

公共下水道の整備を推進するとともに整備計画外では合併処理浄化槽の設置の普及を図り、平成24年度からは単独処理浄化槽及びくみ取り便所から、合併処理浄化槽に転換する世帯に対し上乗せ補助を実施する計画である。

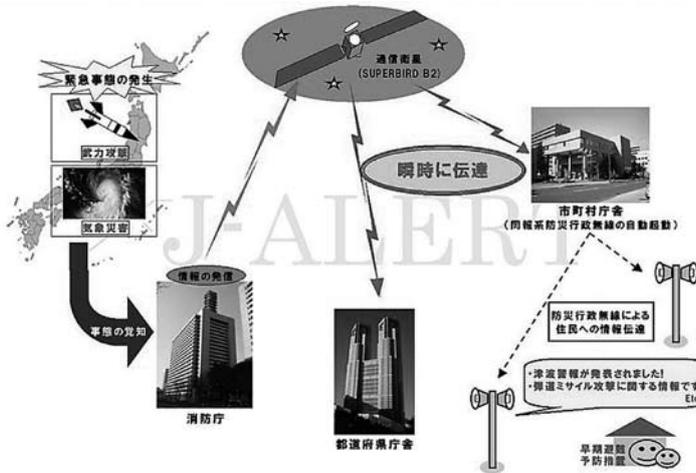
維持管理は法定検査を毎年1回、県浄化槽協会が水質検査を実施しており、検査結果は本人及び県に報告し管理が不適正な浄化槽は、保守業者へ改善するよう通知をしている。

広報紙などで法定検査の周知をし、町の調査の結果ともあわせ適正に維持管理をするように県とともに進めていく。

## 村瀬 秀則 議員

### Q J-Alertとの連携体制について

### A デジタル化などへの検討、研究をする



本町に整備されているJ-Alertのシステム図

本町に整備されているJ-Alertのシステム図。緊急事態の発生（地震、電力障害、ガス災害）が通信衛星（SUPERBIRO B2）を通じて瞬時に伝達され、市町村庁舎（四機系防災無線機の自動起動）から消防庁や都道府県庁舎へ情報が伝達される。また、防災無線機による住民への情報伝達（津波警報が発表されました！、弾道ミサイル攻撃に関する情報です！）や早期避難の呼びかけも行われる。

**問** 全国瞬時警報システム（J・Alert）本町においては昨年に整備をされ、災害・有事の際に大きな役割を果たすものと思われる。今後は、連携した移動系GPSデジタル無線整備が必要と考えられるが。

**町長** 5年後の平成28年度に防災行政無線の免許更新時期に合わせて、デジタル化などへの検討、研究をして参りたい。



現在、窓口で取扱いが出来ない、ゆうちょ銀行

**問** J-A統合による指定金融機関としての使命と対応について

**町長** 綾川町の納付令書は、ゆうちょ銀行に对应が出来ていない。4月からの運用開始に向けて「税システム」のシステム改修作業をしているが、今後、コンビニ収納制度導入にあわせ、対応出来るように考えて行く。

**問** 本町においてJ-Aは指定金融機関として業務にあたっていたらいい。今後の統合に併せて窓口サービスが低下する中、町内8カ所ある、ゆうちょ銀行代理店の指定代理の考えは。

**町長** 綾川町の納付令書は、ゆうちょ銀行に对应が出来ていない。4月からの運用開始に向けて「税システム」のシステム改修作業をしているが、今後、コンビニ収納制度導入にあわせ、対応出来るように考えて行く。

## 横井 薫 議員

### Q 田畑の崩壊と水位は

### A ため池の貯水量と水位は水利組合の判断



侵食による田畑の崩壊

**問** 綾川町に10万トン以上のため池が13カ所あり、そのため池も長年の波によって田畑が侵食崩壊し、池の中に埋没している。畑田地区においても貯水量33万7千トンの池があり昭和51年に改修したが、工事前より水位が上がったと、問題になった経緯がある。受益者が個々の池に対してどの程度の水を必要としているのか。町として、水利組合と協議できるか、できないのか。

**町長** 町内にはため池の波により、ため池護岸が浸食され、農地などの崩壊が起きている箇所が見受けられる。町への相談もあり、現地確認等を行い、復旧に至るケースもある。問題はため池の背後地が農地であり耕作さ

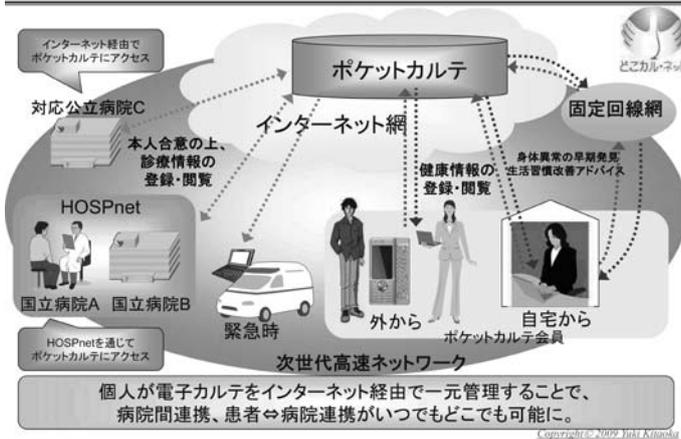
れているかどうか、背後地が山林又は、耕作していない場合は補助対象にならない。また、ため池の貯水量と水位は受益者が減少していても県の事業から難しい。平成23年度から、町内にある10万トン以上のため池において、防災意識の向上と、被害の回避と軽減を図るために、地震でため池が決壊した場合のハザードマップの作成に取り組んでいる。地震の決壊は堤体の耐震性が重要だが、地震発生時のため池の水位も、決壊の要素となっている。地震が発生してもため池の水を排水し、水位を下げれば決壊の危険性は低くなる。今後水利組合とハザードマップの作成した折に、ため池の水位を下げての管理などの、災害対応への理解と協力について協議をしていく。



**Q 町内システムを一元化し、  
予防医療に活かしては**

**A 一元化を目指し、検討したい**

ポケットカルテの今後を見据えた全体像



医療クラウドの例 ポケットカルテシステムイメージ



**問** 電子カルテについて、町内統一のシステムとし、将来的には私立病院も含んだ情報一元化を図ってはどうか。

**答** 医療クラウドにより、住民の皆様の体調管理までを網羅した「住民健康カルテ」を構築してはどうか。

**町長** 地域包括ケアシステムの実現には、医療・保健・福祉の各機関同士連携が重要。個々に持つ診療情報を共有する事は、正確な診断や医療費の削減にも繋がる。電子カルテシステム更新時を目処に、陶病院と綾上診療所の情報一元化を目指し調整を図りたい。「医療クラウド」についても調査研究し検討したい。

**Q** 住基カードと行政サービスを紐付けした活用方法は検討しサービス向上に努めたい

**A** 先述のカルテシステムを実現させ、住基カードとの連携を行っては。住基カードは現在発行のメリットが少ない。カルテとの連携だけでなく、幅広い連携についてはどうか。

**町長** 現在、住基カードを利用したサービスは行っていない。運転免許証の返納に対する無料交付など、住基カードの普及を図りたい。

**問** TPP参加阻止にむけての取組は

**答** TPP交渉では、物品市場アクセスなど21分野で基本的なルールについて交渉が行われる。全品目の関税撤廃が求められ、農業の衰退や自給率の低下を招く。極秘交渉ではなく、交渉内容を開示し、国民的議論を踏まえ、慎重に判断することである。

**問** 消費税を平成25年度までに10%に引き上げること前提として、その一部を先食いしながら、年金給付、子ども手当への削減で社会保障費を抑制する方向である。年金、子ども手当では、どの程度影響を受けるのか。

**答** 4月支給分の年金から0.3%削減、更に10月支給分から0.9%上乗せして減額される。町では、国民年金受給者の受給総額から計算して3800万円の減額。厚生年金受給者への影響はもっと大きい。子ども手当では、中学生まで月額1万3000円支給されていたが、24年度は3歳以上から小学生の第1子・第2子は3000円下がって1万円になるなど支給変更になった。

**問** 24年度から町は、太陽光発電導入補助金を行うが、その内容は。

**答** 4月から1キロワットあたり3万円、4キロワットを限度に補助をする。

**問** 旧西分小学校の今後の跡地利用について何かプランはあるのか。西分地区については、JAの撤退も決まり、公共的施設が減っている。地域活性化のため町として対策を練って欲しい。

**答** 今後の利用方法は、「取り壊し」あるいは「耐震補強と消防設備をして貸借」等が考えられるが多額の費用が必要になる。

**問** 地域の活性化や跡地利用については、今後、地域や議会と協議していきたい。

**答** 今後の利用方法は、「取り壊し」あるいは「耐震補強と消防設備をして貸借」等が考えられるが多額の費用が必要になる。

**問** 町外へのPRについて、どのような事を行っているのか。また、さらなる知名度向上のための施策はあるのか。

**答** 民間事業者による周知・宣伝活動や、町ホームページによる周知を行っている。

**問** コトデン新駅を中心としたまちづくりに着手し、企業誘致に関しても推進している。こうした総合的な取り組みで、町外の方や民間企業の関心を向上させるよう努力している。

# 議員表彰

議会の運営および地域の振興発展に尽くした功績により特別表彰されました。

## 全国町村議会議長会特別表彰



村瀬 秀則 議員



# 傍聴記



## 畑田地区 大西 進

私は初めて、議場内傍聴席につき、一般質問を傍聴しました。  
今回の一般質問は7議員が質問に立ち、私たち農家のこれからの問題で

あるTPP参加問題、まして、ご理解とご協力をお願い致します。J A 県農協問題等々が質問されていきました。私は鵜の池周辺の激しい侵食被害に、どのようなため池水利組合と対応していけばよいか、地元議員の一般質問に、町長の回答をいただき、難しい問題と認識致しました。しかし、被害を受けているのは、ため池周辺の地権者でありますので、町としても良い方策を見出す

### あなたも、議会を傍聴してみませんか。

手続きは住所・氏名・年齢を記入するだけです。

次の定例会は6月の予定です。



最後に、ご協力をお願い致します。これを機会に、議会傍聴や議会だよりを読もうと思えます。

# 編集後記

桜の開花とともに、いと別れの時が過ぎ、人生の節目として大いなる夢と希望を持ち前進したものです。

議会だよりの編集委員も2年間担当させていただきありがとうございます。

一人でも多くの皆様に読んで頂けるよう、日常言葉でわかり易く、紙面のレイアウトに工夫するなど、努めてまいりましたが、まだまだ改善することが多く反省しています。

改善課題を新しい編集委員に引き継ぎ取り組みますので、ご厚情頂きますようお願い致します。

## 議会広報編集委員会

- 委員長 安藤 利光
- 副委員長 福家利智子
- 委員 川崎 泰史
- 委員 福家 功
- 委員 横井 薫
- 委員 鈴木 義明

## 議会日誌

1月6日	議会広報委員会	3月1日	議会運営委員会
18日	議会広報委員研修 (広島県神石高原町)	7日	本会議 全員協議会
19日	総務委員協議会(施設訪問)	8日	本会議 議会広報委員会
27日	厚生委員協議会(現地踏査)	9日	総務常任委員会
2月1日	議会運営委員会	12日	厚生常任委員会
3日	綾川町立学校等再編整備 調査特別委員会	14日	建設経常任委員会
◇	建設経済委員協議会 (現地踏査)	19日	綾川町立学校等再編整備 調査特別委員会
16日	臨時議会 全員協議会	21日	本会議
17日	香川県町村議会議長会総会 (定例会)	29日	議会広報委員会
24日	後期高齢者医療広域連合議会 総会(定例会)		